



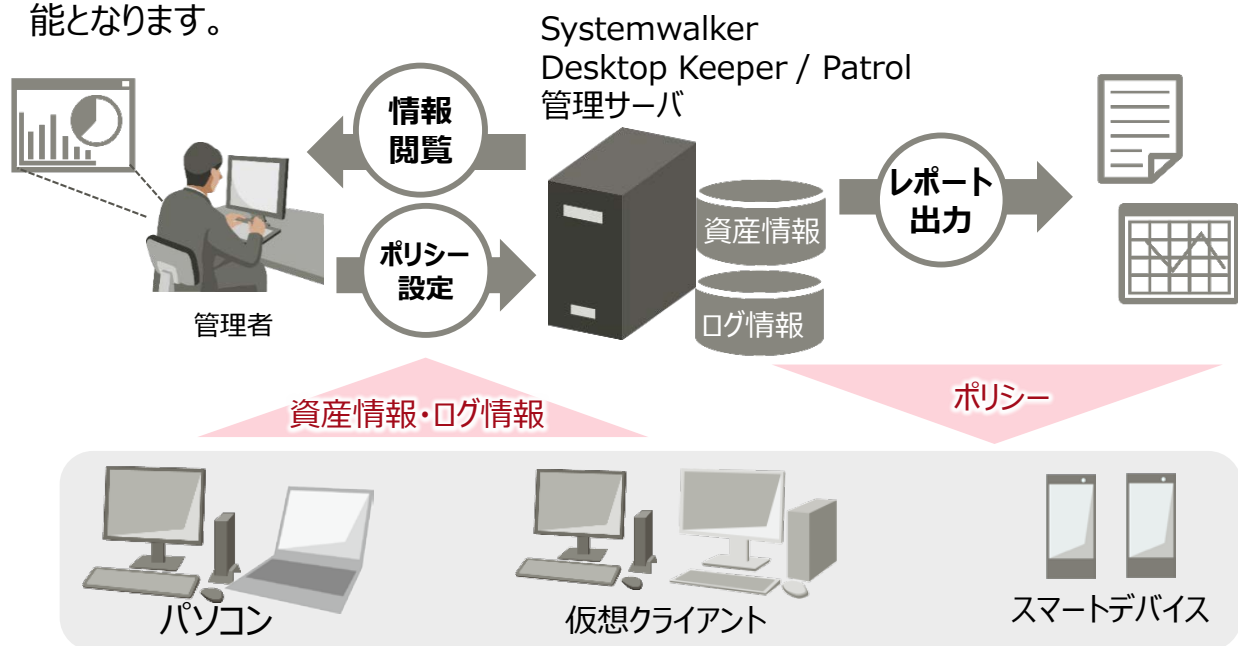
「Systemwalker Desktop Patrol」(DTP)は、パソコンやサーバ、スマートデバイスなど、ICT資産全体をセキュリティと資産管理の両面から一元管理できるソフトウェアです。
「Systemwalker Desktop Keeper」(DTK)は、利用者によるクライアントの操作を記録して問題行動を抑止したり、問題行動の禁止により組織内の重要情報の流出を防止するソフトウェアです。
この度、新たにV15.2.0を販売開始しましたのでお知らせします。

【ここがポイント】

- ①資産管理台帳の改善/強化(DTP)
- ②セキュリティリスクへの対応強化/ログ強化(DTK)

概要

- 「Systemwalker Desktop Patrol」は、ICT資産の情報を自動で収集し、セキュリティパッチやOSのセキュリティ設定の管理、ソフトウェアライセンスの管理、棚卸や契約管理などの資産管理を簡単に実現します。
- 「Systemwalker Desktop Keeper」は、パソコン、仮想クライアント、スマートデバイスのログ収集を実現します。また、持出しファイルの原本を保管し漏えい時の追跡も可能となります。



Systemwalker Desktop Patrol

資産/契約管理

- ・機器情報の自動収集
- ・契約情報管理

棚卸管理

- ・棚卸進捗管理
- ・不正接続端末検知
- ・廃棄時のデータ消去

ソフトウェア ライセンス管理

- ・導入ソフトウェアの把握
- ・ライセンス過不足の把握
- ・違反端末の自動通知

保守管理

- ・セキュリティパッチ配信
- ・ファイル/ソフトウェア配信
- ・セキュリティ設定の監査
- ・遠隔操作

Systemwalker Desktop Keeper

操作の記録と禁止

USBメモリへの
ファイル持出し

メール送信

印刷

Web閲覧

Bluetooth
接続

Wi-Fi接続

クラウドでの
メール送信

クラウドへの
ファイル持出し
など

エンハンス内容のポイント

近年、働き方改革への関心の高まりから、従来のオフィス業務から、時間や場所の制約を受けない業務スタイルへと変化が進んでいます。また、内部不正だけでなく、業務に扮したウィルスメールを送り付け情報を盗取する標的型攻撃や、データの人質に金銭を要求するランサムウェアなど、クライアントを狙ったサイバー攻撃は、増加の一途をたどっています。V15.2.0では、これらの変化に追従するための機能強化を行いました。

業務スタイルの変化



オフィス



自宅

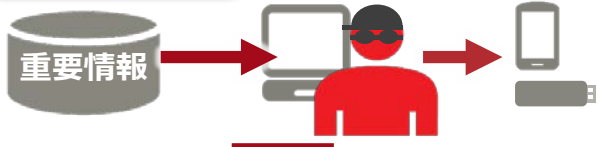
クライアント
仮想化



移動中

セキュリティ脅威の変化

内部不正



重要情報

サイバー攻撃



重要情報

V15.2.0で強化

- シンクライアントを対象としたポリシー設定(DTP)
- 公共の場でのパソコン覗き見を検知(DTK)※
- 社員のPC利用時間を上長へ通知(DTK)
- 機器情報の変更履歴記録(DTP)
- マルウェア検出後のネットワーク遮断/操作禁止(DTK)
- 受信メールの内容を記録(DTK)

※ Sense YOU Technology Bizが導入されているパソコンが対象です。 ほか、お客様のご要望にお応えし、12点を改善

Systemwalker Desktop Patrol/Keeper キャンペーン V15

クライアント台数上限300台のお得な安価な価格設定

DTP/DTKキャンペーンセット項目	キャンペーン型名	適用対象	通常製品価格	キャンペーン価格
メディアパック V15	B5141Q52C	32bit OS用	20,000円	10,000円
メディアパック V15(64bit)	B5142A42C	64bit OS用	20,000円	10,000円
サーバライセンス	B5141Q42B	管理サーバ	738,000円	243,600円
1クライアントライセンス	B5141Q32B	(WindowsPC)	22,600円	5,000円
		(スマートデバイス)	5,000円	
10クライアントライセンス	B5141Q22B	(WindowsPC)	203,400円	45,000円
		(スマートデバイス)	45,000円	
100クライアントライセンス	B5141Q12B	(WindowsPC)	1,921,000円	425,000円
		(スマートデバイス)	425,000円	

※本キャンペーンでは、「Systemwalker Desktop Patrol」と「Systemwalker Desktop Keeper」をセットにして提供します
管理対象クライアント台数は300台までです（上記の合算数で300台までです）
※ご利用の管理サーバとクライアントPCに合わせたメディアパックをご購入ください
※本製品は、クライアントPC(WindowsPC)と、スマートデバイス(OS:Android/iOS)をサポート対象とします

ミドルウェア環境構築支援サービス（有償）

ミドルウェアについて高い技術力と豊富な経験を持つ製品技術者が対応支援するサービスです。
Systemwalker Desktop Patrol、Keeperのシステム環境構築手順書の作成、インストール、環境・情報の設定支援およびシステムテストの支援を行います。※サービスの価格は個別見積りとなります

タッチ&トライ

お客様環境に製品をインストールすることなく、製品構築済みの富士通のクラウド環境を14日間無料で貸出しします。
（富士通営業経由でお申し込みください）

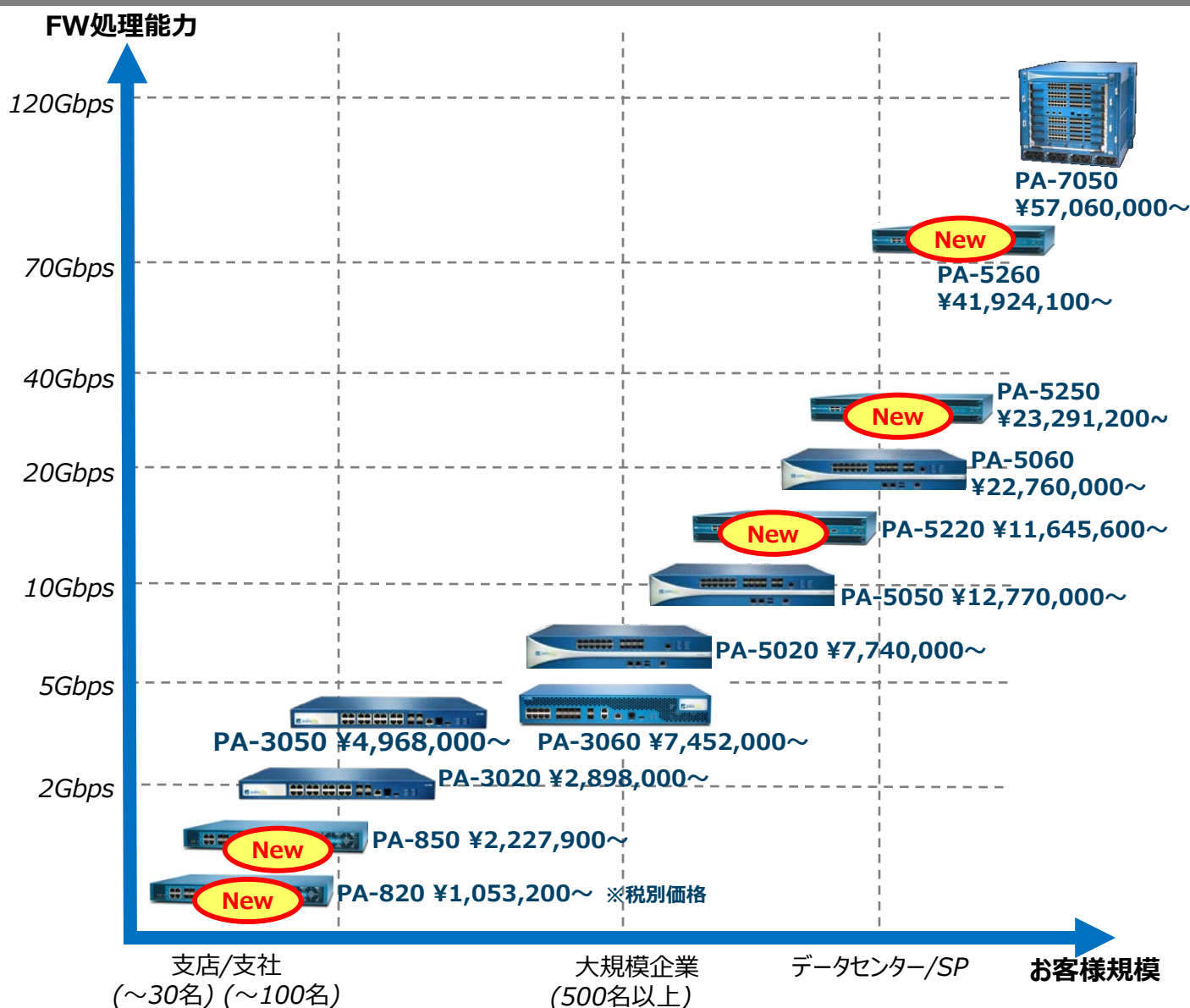


サンドボックス分析などの機能を備えたパロアルトネットワークス社製高性能次世代ファイアウォール製品「PAシリーズ」において、現在提供中の大規模企業（500名～）向け機種のPA-7000シリーズとPA-5000シリーズの中間の位置付けとして、PA-5200シリーズ3機種を追加すると共に、今まで提供できていなかった小規模（100名以下）向けにPA-800シリーズ2機種を追加することで、お客様の規模・要望に沿ったラインナップ強化を実現します。また、PAシリーズでオプション機能を使用するために必要なライセンス「サブスクリプションライセンス（脅威防御/URL-FL/WildFire）」は、今まで有効期限が1年のみの提供でしたが、今回有効期限が5年のサブスクリプションライセンスを全機種に対して追加します。

【ここがポイント】

- ① PA-5200シリーズ 3機種、および小規模向けPA-800シリーズ 2機種追加
- ② 有効期限が5年のサブスクリプションライセンスを全機種に追加

ラインナップ



PA5200シリーズ

現在提供中のPA-7000/5000シリーズで対応していた、大規模企業（500名～）向けに対し、PA-5200シリーズを3機種追加します。PA-5260/5250では100Gのインターフェースをサポートしています。

PA-800シリーズ

い今まで提供出来ていなかった小規模企業（100名以下）のお客様向けに低価格で対応可能なPA-800シリーズ2機種を追加します。これまで価格的に導入を躊躇されていたお客様にも提供可能な商品です。

●サブスクリプションライセンス（5年）

PAシリーズでオプション機能を使用するために必要なライセンス「サブスクリプションライセンス（脅威防御/URL-FL/WildFire）」は有効期間が1年のみ提供しておりましたが、今回有効期間が5年のサブスクリプションライセンスを追加提供します。有効期間が5年のサブスクリプションライセンスは期間1年のものに比べ、低価格での提供が可能です。

PAシリーズの概要

パロアルトネットワークスの次世代ファイアウォールソリューションは、これまでのポート番号やプロトコルベースのファイアウォールでは不可能であった、「アプリケーション」、「ユーザ」、「コンテンツ」といった要素での制御をポリシーベースで実現し、企業や組織において脅威となる、ファイアウォール越えをいとも簡単に行うアプリケーションに対して、即座に対策を施すことが可能です。

従来型ファイアウォールの課題

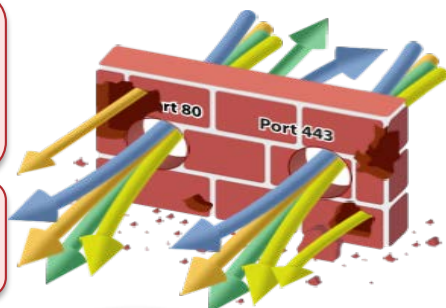
ポート番号ベースでの制御を行う従来型のファイアウォールでは、高度化したアプリケーションの制御と可視化が不可能である。また昨今の標的型攻撃への対策もなされていない

①アプリケーションの高度化

- アプリケーション開発者はファイアウォールがポート番号ベースで制御することを前提に開発しているため簡単にファイアウォール越えが可能
- 動的なポートスキャン、80/443ポートの活用、暗号化を利用し簡単にファイアウォールを通過

②標的型攻撃

- 新たな脅威（未知のマルウェア）に対する対策がなされていない
- ボットネットに感染した端末を特定できない



従来型ファイアウォールでは対応できない



PAシリーズで解決

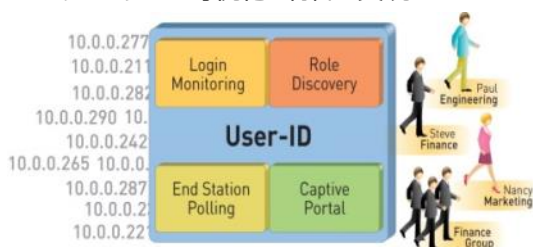
アプリケーション識別し制御（APP-ID™）

ポート番号、プロトコル、SSL暗号化に関わらず1800種類以上のアプリケーションを識別し制御と可視化を実現



ユーザ識別し制御（User-ID™）

IPアドレスに関わらず、Active Directory 等と連携することによりユーザーの可視化と制御を実現



高度なコンテンツセキュリティを実現（Content-ID™）

アプリケーションに埋もれた脆弱性攻撃、情報漏えい、マルウェアやスパイウェア等の脅威、悪意あるサイトへの遮断などリアルタイムで防御



標的型攻撃への対策

昨今のサイバー攻撃の主流となっている標的型攻撃対策として活用可能

- WildFireによる標的型対策
未知のウィルスの進入を防ぐ
- ボットネット対策
ボットネットに感染している端末を早期に発見、防御





「マルウェア感染端末自動隔離パック（MS*）」は、万一の脅威の侵入や感染端末の持ち込みに備えたソリューションとして、ネットワーク機器（スイッチ）を制御することで、マルウェアに感染した端末を自動隔離して、セキュリティ脅威の感染拡大を防止します。

【ここがポイント】

- ①セキュリティ機器連携によるシステムの堅牢性を向上
- ②マルウェア感染端末の特定、可視化
- ③セキュリティトラブルからの復旧を迅速化

* MS：Malware Separation（以下、MSと記載）

背景・特長

クラウド活用
によるシステム環境の
変化とセキュリティリスク
の高まり

環境の変化

- クラウドを利用するためのインターネット接続が増加

従来のセキュリティ対策だけでは不安...

- 物理（お客様拠点など）と仮想（クラウド）が混在することで、ネットワークが複雑化

感染範囲がどの端末まで広がっているか把握が難しい

マルウェア感染端末自動隔離パック（MS）があれば、すべて解決いたします！

セキュリティ機器連携による システムの堅牢性を向上

特長

1

万一のセキュリティトラブル発生時でも、セキュリティ機器が検知した瞬間に自動隔離することで、感染範囲を局所化



詳しくは裏面をご覧ください。

マルウェア感染端末の特定、可視化

特長

2

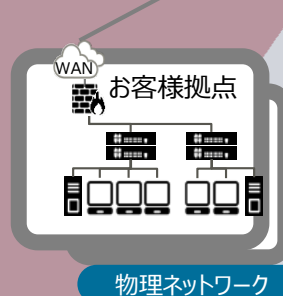
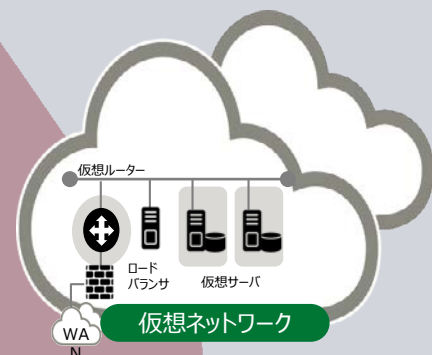
マルウェアに感染した端末の状況をネットワークマップ上にわかりやすく表示

セキュリティトラブルからの復旧を迅速化

特長

3

ネットワーク機器の管理・制御を一元化し、遠隔拠点でネットワークから切り離された端末の再接続（復旧）も簡単に可能



マルウェア感染端末
自動隔離パック（MS）

マルウェア検知時における感染端末の自動隔離

企業ネットワークの安全な運用を実現する富士通のソリューション

クラウド活用に伴い企業システムにおけるインターネット接続が必須となり、マルウェアの脅威に常にさらされるといったネットワーク運用の不安が、企業の新たな課題となっています。

本ソリューションでは、ネットワーク管理・制御システム「マルウェア感染端末自動隔離パック（MS）」と、セキュリティセンサーとの連携により、入口／出口での脅威検知・遮断に加え、ネットワーク内部のマルウェア感染拡大を防止するソリューションをご紹介します。

マルウェア感染端末自動隔離パック（MS）
ネットワーク管理・制御



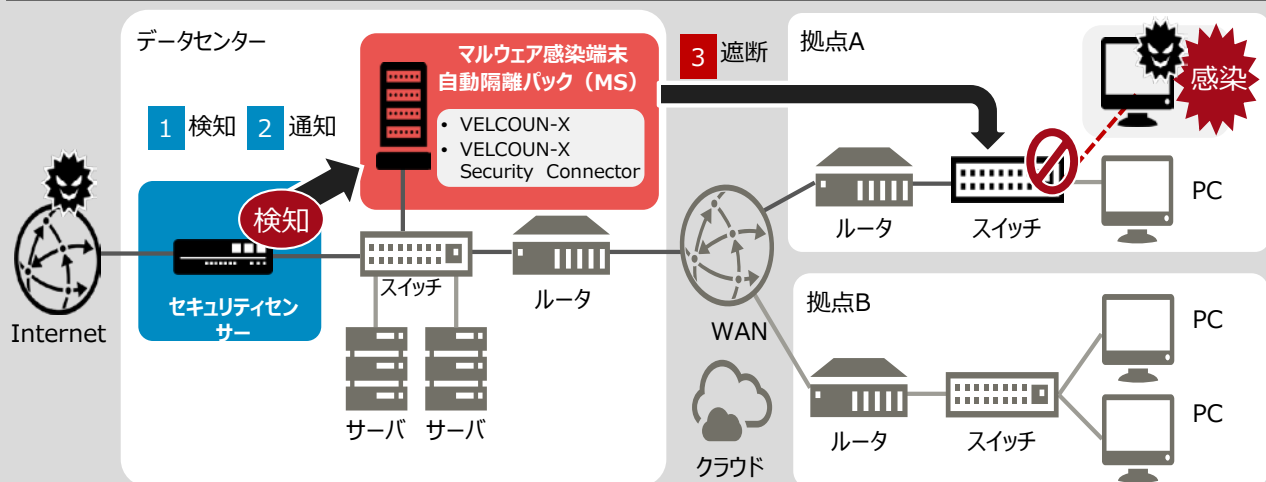
セキュリティセンサー
マルウェア検知

FUJITSU

FUJITSU (IPCOM) paloalto NETWORKS

入口／出口での脅威検知・遮断に加え、ネットワーク内部のマルウェア感染拡大を防止

- マルウェア検知した瞬間に感染端末を隔離することで、**内部拡散防止により感染範囲や情報漏えいのリスクを最小限化**
- マルウェア感染端末自動隔離パック（MS）が自動で感染端末の接続ポートを迅速に特定・閉塞するため、**管理者負荷が軽減**



1 ネットワーク内にある端末に感染したマルウェアが、インターネット上の不正サイト（C&Cサーバ）にアクセスしていることをセキュリティセンサーが検知します。

2 感染した端末のネットワーク情報をマルウェア感染端末自動隔離パック（MS）[VELCOUN-X Security Connector] に通知します。

3 感染端末のネットワーク情報を基に、接続されているネットワーク機器のポートを特定し、マルウェア感染端末自動隔離パック（MS）[VELCOUN-X]を経由して遮断します。これにより、感染端末を隔離し感染範囲や情報漏えいのリスクを最小限に抑えることができます。

価格（2017年11月末時点）

ポート閉塞対象として登録するスイッチ台数	標準価格(税別・ソフト+ハード)
～50台	¥3,060,400～
51台～100台	¥5,399,300～
101台～500台	¥11,724,300～

※上記価格については、ハード製品（PRIMERGY）のモデル切り替えに伴い、変更となる場合があります。

クラウド型コラボレーションサービス「Cisco Spark」 および専用端末「Spark Board」の新規提供について

あらゆる働き方に応じたコミュニケーション強化をご検討のお客様向けにクラウド型コラボレーションサービス「Cisco Spark」および専用端末「Spark Board」を新規に提供を開始します。

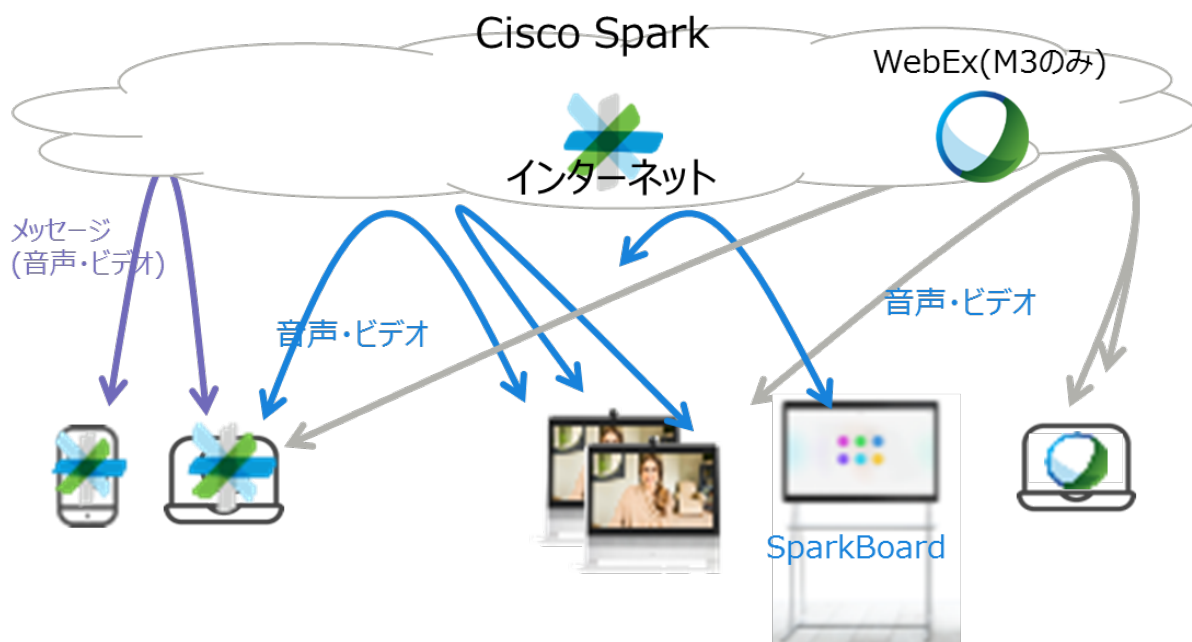
【ここがポイント】

- ・クラウド型で提供されるコラボレーションサービスですので、いつでも、どこでもコミュニケーションが可能です。
- ・PC・スマートデバイスやSpark Board専用端末等で利用できるため、テレワーク等でご利用いただけます。

サービス概要

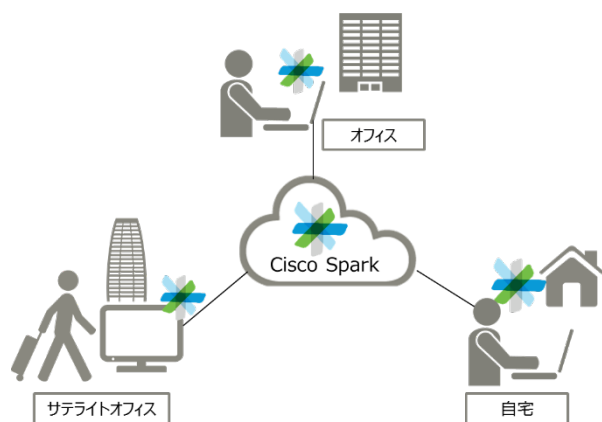
Cisco Sparkは、仮想会議室上でビデオ会議・電話、グループチャット、資料共有/ファイル共有などを提供するクラウド型サービスです。

インターネットに接続可能なデバイスがあれば誰でも、いつでも、どこでも、コミュニケーションを取ることが可能です。



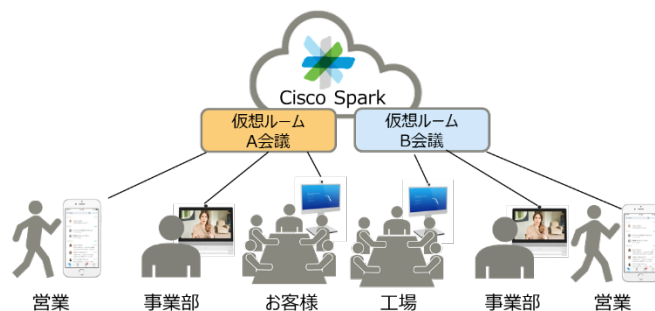
特長

■インターネット接続ができる環境があれば利用可能



インターネットを介したサービスのため、自宅・外出先・事務所など場所に縛られることなくあらゆる場所から利用が可能で、利用シーンに合わせてグループチャット・Web会議・ファイル共有など柔軟な働き方を支援します。

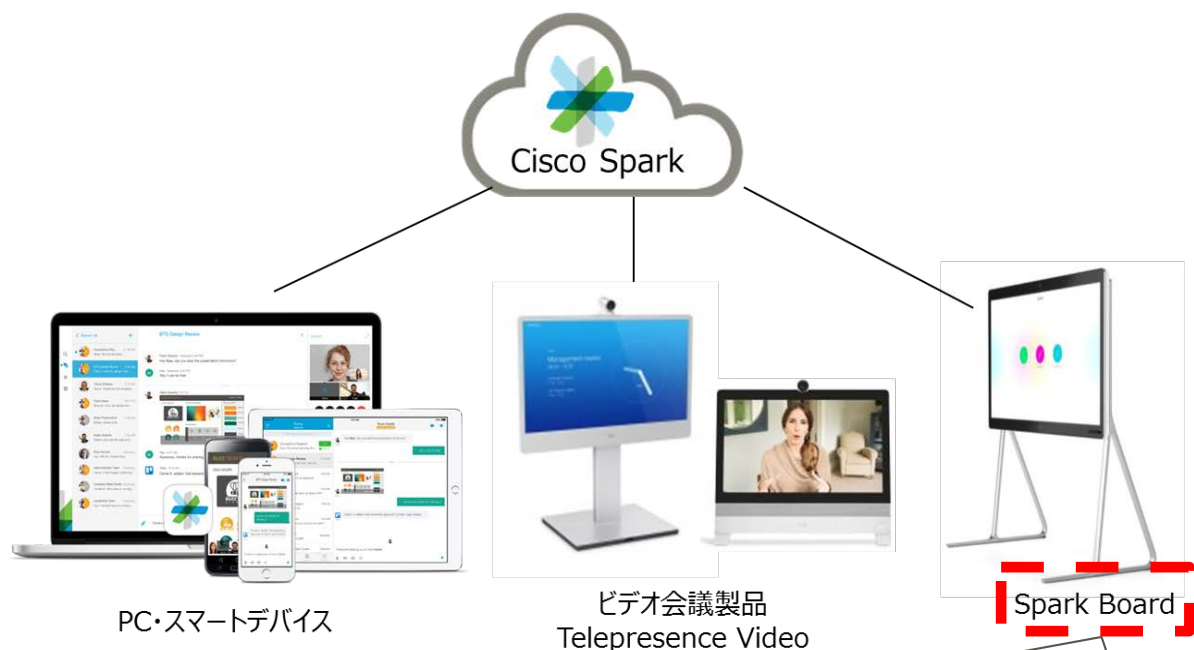
■社外のお客様や協力企業ともコミュニケーション可能



Cisco Sparkは端末にCisco Sparkアプリケーションをインストールすれば利用可能です。
Cisco Sparkアプリケーションを持っているユーザなら誰でも参加が可能のため、外出中の社員や取引先のお客様とのコミュニケーション強化ができます。

既存の端末/専用端末両方で利用が可能

PC・スマートデバイス・Cisco社製ビデオ会議製品(Telepresence Video) 等の端末で利用できるため、既存の資産や環境を大きく変更することなくビデオ会議・グループチャット・資料共有・Web会議などを利用可能です。また、専用端末である「Spark Board」を利用することで、更に効果的に情報共有が可能となります。



■ Spark Boardとは

Cisco Spark配下でのみ利用可能なデバイスで、「ビデオ会議」「資料共有機能」「デジタルホワイトボード機能」の利用が可能です。

・ビデオ会議イメージ



・デジタルホワイトボードイメージ



価格例（税別）

基本サービスM1※1	: 14,900円/ID（1年）～
基本サービスM3※2	: 58,000円/ID（1年）～

※1:テキストのメッセージング、ファイル共有、3名までのビデオ会議機能、テクニカルサポート等の機能を提供。
※2:「基本サービスM1」に25名までのSpark会議、及び200名まで同時に参加できるWebEx会議の機能を提供。

Spark Board 55 +Wall Mount Kit※3	: 883,000円
Spark Board Subscription Licenses	: 428,500円/ID(1年) ～

※3:Spark Boardの利用には「Spark Board Subscription Licenses」の契約が必須となります。
また別途搬入/工事費用がかかります。



K5 Playgroundは、人気の技術やフレームワークが組み込まれたクラウドネイティブ・アプリケーションの無償開発ツールです。開発環境や設定を提供しているため、面倒なセットアップやルーチン作業を避け、必要な開発に集中できます。アイデアの価値を動くアプリですぐに検証できます。

【ここがポイント】

- ①簡単3ステップで、アプリケーションを作成できます。
- ②テンプレートやマイクロサービス等を組み合わせて、簡単かつ短期間の開発を実現します。
- ③教材テキストと動画をみながら、アプリケーション開発を自席で体験できるWebハンズオンを提供します。
- ④Playgroundは無料です。ユーザ登録も不要で、すぐ始められます。

特長

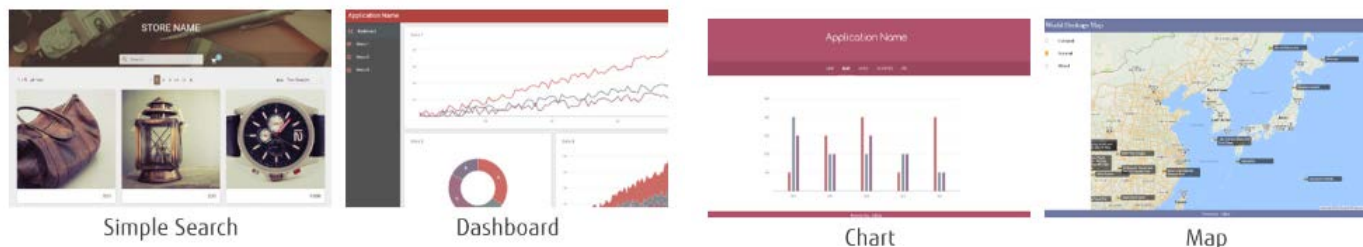
1. 簡単3ステップで、アプリケーションを作成できます。

アイデアに合わせてデザインを選んだら、使いたい機能を設定し実行するだけ。あなたが思い描くアプリケーションを、手軽に作成することができます。



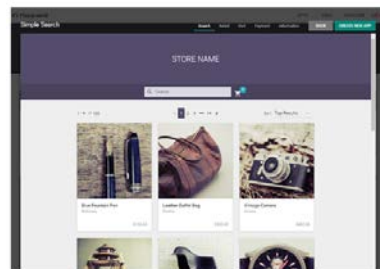
2. 豊富なテンプレートを元に、スピーディにアプリケーションを作成できます。

検索・ダッシュボード・チャート・地図など、よく利用されるパターンのテンプレートをご用意しています。そのため、アイデアに近いものを選んだ後は、少ない手順で動くアプリケーションを作成できます。



3. イメージに合わせて選ぶだけ、手軽にデザインできます。

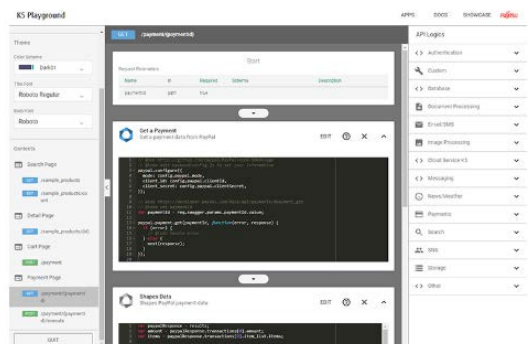
フォントやカラーバリエーション、UIパーツを選択形式で変更できるため、デザインスキルがなくても、イメージ通りのデザインが可能です。



4. ドラッグ&ドロップで、柔軟に変更できます。

DB、メッセージング、SNSなど、さまざまな用途のマイクロサービス(※)を利用できる部品をご用意しています。使いたい機能に合わせて、ドラッグ&ドロップの操作で簡単にアプリケーションの振る舞いを組み替えることができます。

(注) 包括的で大規模なシステム開発ではなく、用途・目的別の小さな個別のサービスです。

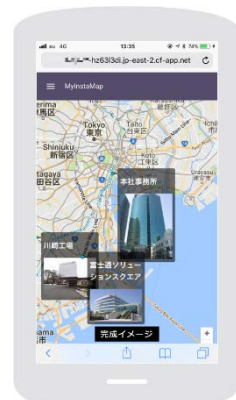


1. K5 Playground×CF Webハンズオン (実行環境の7日間無料トライアル付)

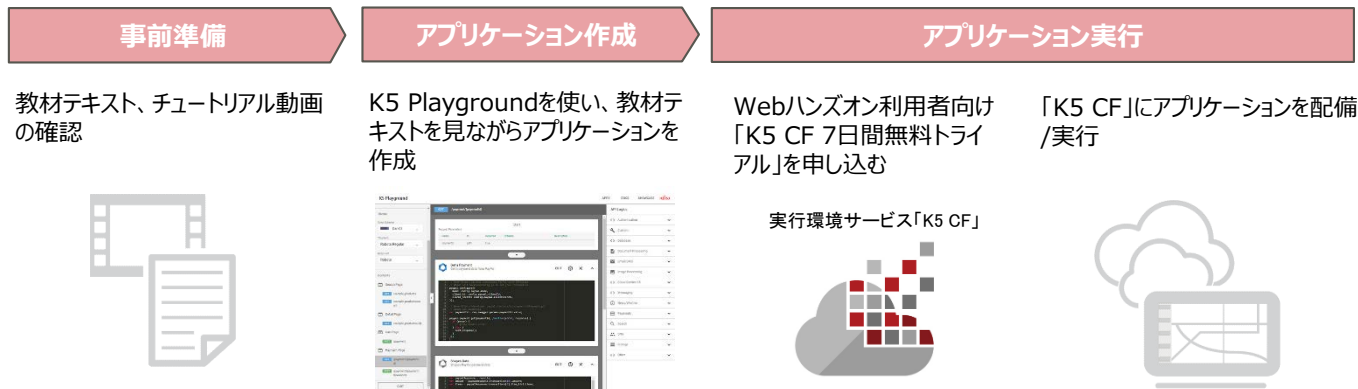
「K5 Playground」と、アプリケーション実行環境サービス「K5 CF」を使って、ブラウザ上で簡単にアプリケーション開発してみませんか？

あらかじめ用意されたテンプレートをもとに、テキストとチュートリアル動画をみながら、マイクロサービスを組み合わせることでクラウドネイティブアプリケーション開発を自席で体験できます。

- ・【初級編】 Google Map上に、Instagram投稿写真を掲載するアプリ (所要時間 45分)
- ・【中級編】 LINE チャットボットを使った自動応答アプリ (所要時間 90分)



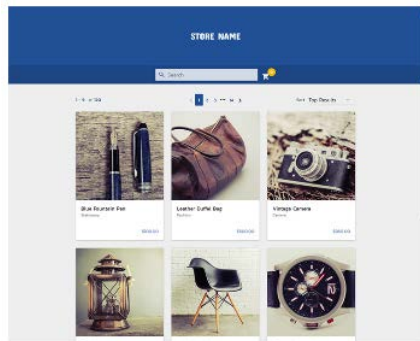
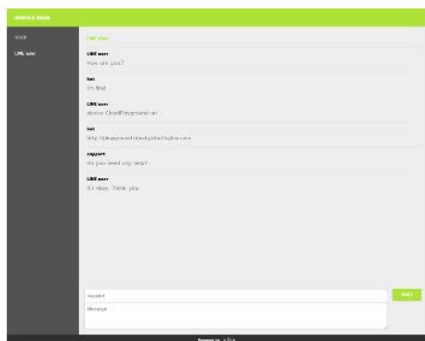
Webハンズオンの流れ



2. アプリ開発の手順を学べるレシピ集をご提供

さまざまなアプリケーションのサンプルコードの紹介から、開発の手順をレクチャーするチュートリアルサイト「K5 Showcase」や、Webハンズオン教材も合わせてご利用いただけます。こちらをご利用いただくことで、各種アプリケーションが数十分～2時間程度で開発することができます。ぜひご活用ください。

- ・LINEチャットボット 開発時間60分
- ・ショッピングサイト 開発時間30分
- ・Google Map × Instagram 開発時間20分



価格

Playgroundは無料です。ユーザ登録も不要で、すぐ始められます！
アプリを稼働させる環境として使用するK5 CFは有料ですが、「7日間ハンズオン」または「K5 30日トライアル」の利用により無料で利用できます。

K5 Playground の詳細、ご利用は以下から
<http://jp.fujitsu.com/solutions/cloud/k5/playground/developer/>